

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



ゴミ収集車に来ていただきました！

「くらしとゴミ」の学習をしている4年生は、6月27日（木）5限目に、津市環境事業課をお願いして、ゴミ収集に係るお話をしていただきました。環境事業課の方から子どもたちへの質問によると、子どもたちはお手伝いで「ゴミ出し」をしている子が多く、ゴミ収集車を見かけた子もかなりいました。環境事業課の方のお話では、津市では、ゴミを13種類17品目に分別して集め、リサイクルや処分をしているそうです。まず、ゴミの分別の種類やゴミの種類ごとにゴミ出しをする際の注意事項などの話を丁寧にいただきました。また、ゴミ収集の話だけでなく、学校でも取り組んでいる「くるりんペーパー」の話もしていただきました。特にお願いされたのは、津市のゴミ出しのルールを守ることでした。「決められた日の朝8時までに」「決められたゴミだけ」「決められた方法で」「決められた場所へ出す」ということです。ルールが守られていないゴミには、イエローカード（警告カード）が貼られることも教えていただきました。

お話のあとには、ゴミ収集車の説明をしていただきました。このゴミ収集車には、45ℓのゴミ袋が1000袋くらい入るそうです。重さでは、4750kgまで大丈夫だそうです。また、ゴミ収集時に巻き込みの事故が心配なので、緊急停止ボタンが左右2か所に、両手がふさがっていても膝で反応させることができるように、ゴミ搬入口のすぐ下に緊急停止バーがあることも教えていただきました。そのあと、ゴミ収集車の3人乗りの座席に全員が替わり交代で座らせていただきました。子どもたちは、とても嬉しそうでした。

最後の質問コーナーでは、子どもたちの手が次々に挙がり、関心の高さが分かりました。環境事業課の方の最近危険だった話では、燃やせるゴミの袋を持った時、ゴミ袋の中に入っていた針が指に刺さったことでした。使い終わった注射針の可能性もあることから、何回か定期的に検査に行かなくてはならず、また通院しなければならないことを話されていました。みんなが分別のルールを守っていたら、こんなことは起こらないはずなので、ルールを守ることの大切



切さが分かったと思います。また、「大雨の日でも、雪の日でも、ゴミを集めに行っている」という話や、「街がきれいになることを嬉しく思いながら仕事をしている」という話を聞いて、環境事業課の方々は、誇りをもって仕事をしていることを、子どもたちは理解できたと思います。環境事業課の方々が去っていくとき、子どもたちがいつまでも名残惜しそうに、「さよなら」と声をかけていたことが印象的でした。



「くるりんペーパー事業」にご協力を！



栗真小学校では、津市が進めている「くるりんペーパー事業」に参加しています。紙のリサイクルマークがついた紙箱等の紙類の量に応じて、学校で使用するトイレットペーパーがもらえます。もしご家庭に紙箱等がありましたら、学校の東昇降口の下駄箱付近に置いてある回収ボックスの中に入れていただくと、ありがたいです。

- 【注意事項】
- ・空箱は、開いて持ってきて下さい。
 - ・ビニールや金属等、紙以外がついているときそれらを取り外してください。

【次のものは回収できません】

*箱の内側に、水や油がしみ出さないように加工されている紙類

・カップ麺のふた ・アイスクリームのカップやふた ・ポテトチップスなどの紙の筒

*ガムの銀紙、金色や銀色で印刷してあるもの

*せっけんの箱など、においの付いているもの

*汚れているもの

このマークの付いている紙箱です。



津市立栗真小学校創立150周年記念行事に参加しての感想⑤

★ 準備の時は、校長先生の資料と、私たちが作った発表内容を見比べて間違いがないか丁寧に確認しました。また、発表の練習では、焦って早く発表してしまったり、文が抜けていたり、たくさん失敗したけれど、反省点を意識して、改善できるように、一回一回の練習を大切にしました。

本番では、校長先生の「他の学年にバトンタッチする」と「150周年を迎えられたことに感謝する」という言葉が心に残りました。この二つの目標を達成できるように自分ができるところにチャレンジしたいです。発表を始める前は緊張していました。けれど、発表を始めると、1～5年生や地域の方もしっかり聞いてくれて、拍手もしてくれて、一生懸命練習してよかったと思いました。

私は、今もお世話になっている栗真小学校に少しでも恩返しができるように、自分ができるところにチャレンジしたいです。また、1～5年生のお手本となって、みんなを引っ張っていくことと、最後までやり切ることを目標に頑張っていきたいです。